■ 研究課題名
出生後早期および産後 2 週間時点での人工乳補足量が 4 週間後の授乳方法に与える影響

■ 研究責任者
漆川　邦（日立総合病院産婦人科　主任医長）

■ 研究の目的
出生後早期および産後 2 週間時点での人工乳補足量が、産後 4 週間時点の授乳状況にどのような影響を与えるかを明らかにすることを目的としています。

■ 研究の対象となる方
2025 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに当院で出産された母児のうち、約 500 例を対象とします。
以下に該当する場合は対象外となります。
・母乳育児を希望されなかった方
・母乳育児が医学的に困難であった方
・赤ちゃんが他院へ搬送された場合
・出生体重 2500g 未満の赤ちゃん
・NICU 入院など，赤ちゃんが哺乳困難であった方
・4 週間健診未受診の方

■ 研究の方法
本研究は診療録（カルテ）および外来記録を用いた後ろ向き観察研究です。
新たな検査や治療を追加することはありません。
母体および赤ちゃんの背景情報とともに、退院時、産後 2 週間および産後 4 週間時点の人工乳補足量や授乳状況を収集し、それらの関連について統計学的に検討します。

■ 研究期間
倫理審査承認後から 2027 年 12 月 31 日まで

■ 研究に使用する情報
診療録より以下の情報を収集します。

【母体情報】
年齢、経産回数、精神疾患の有無、糖尿病・高血圧などの合併症、分娩様式、分娩週数、分娩所要時間、分娩時出血量
産褥健診でのエジンバラ産後うつ病質問票の結果
【児情報】
アプガースコア、臍帯動脈血 pH
【授乳関連】
出生後 5 日まで、産後 2 週間、産後 4 週間時点の人工乳補足量および授乳状況

■ 個人情報の取り扱い
収集した情報は匿名化し、個人が特定できない形で解析を行います。
研究結果は学会や論文で発表を予定していますが、その際も受診者様が特定される個人情報は一切利用いたしません。

■ 研究への参加を希望されない場合
本研究への参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。対象から除外いたします。

■ 問い合わせ先
研究責任者：日立総合病院　産婦人科　漆川　邦
電話　0294-23-1111